

ジオパーク通信では、洞爺湖有珠山ジオパークの活動や見どころなどの紹介をしていますが、今回は平成28年9月9日に、新しく日本のジオパークに認定された4つの地域をご紹介します。4つの地域が加わったことにより、日本のジオパークは全部で43地域になりました。



- ① しもきた **下北ジオパーク**
(青森県むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村)
- ② つくばさん ちいき **筑波山地域ジオパーク**
(茨城県石岡市、笠間市、つくば市、桜川市、土浦市、かすみがうら市)
- ③ あさまやまほろく **浅間山北麓ジオパーク**
(群馬県つまごい嬬恋村、長野原町)
- ④ ちょうかいさん とびしま **鳥海山・飛島ジオパーク**
(山形県酒田市、遊佐町、秋田県にかほ市、由利本荘市)



しもきた <下北ジオパーク>

「まさかり」の形の下北半島は、太平洋・陸奥湾・津軽海峡という、特徴の異なる海に囲まれ、独自の生活環境が培われてきた地域です。海底から運ばれてきた岩石など、変化に富んだ海岸の地形が豊かな海産資源を育ててきた、海と人とのつながりを感じられるジオパークです。

つくばさん ちいき <筑波山地域ジオパーク>

関東平野にそびえる筑波山(標高877m)、昔の海岸線が作った段丘や海が作った湖「霞ヶ浦」等の見どころがあります。日本最大の平野である関東平野の成り立ちや石・土・水から生まれる窯業、醸造業など大地と産業との関わりを感じられるジオパークです。



あさまやまほろく <浅間山北麓ジオパーク>

群馬県と長野県の境にある「浅間山」は、標高2,568mの活火山。最近では2004年に噴火しています。くり返す噴火災害からの復興や、高原地形と冷涼な気候を活かした別荘地としての歴史、火山灰土による高原野菜の栽培等、火山に関わる見どころの多いジオパークです。



ちょうかいさん とびしま <鳥海山・飛島ジオパーク>

約60万年前に火山活動を始めた鳥海山と、日本海の沖合約30kmにある飛島が含まれたジオパーク。飛島は最長約3kmの小さな島ですが、実は海底火山の頂上部分にあたります。鳥海山が生み出す水の循環と、飛島の特徴ある生態系を楽しめるジオパークです。

